

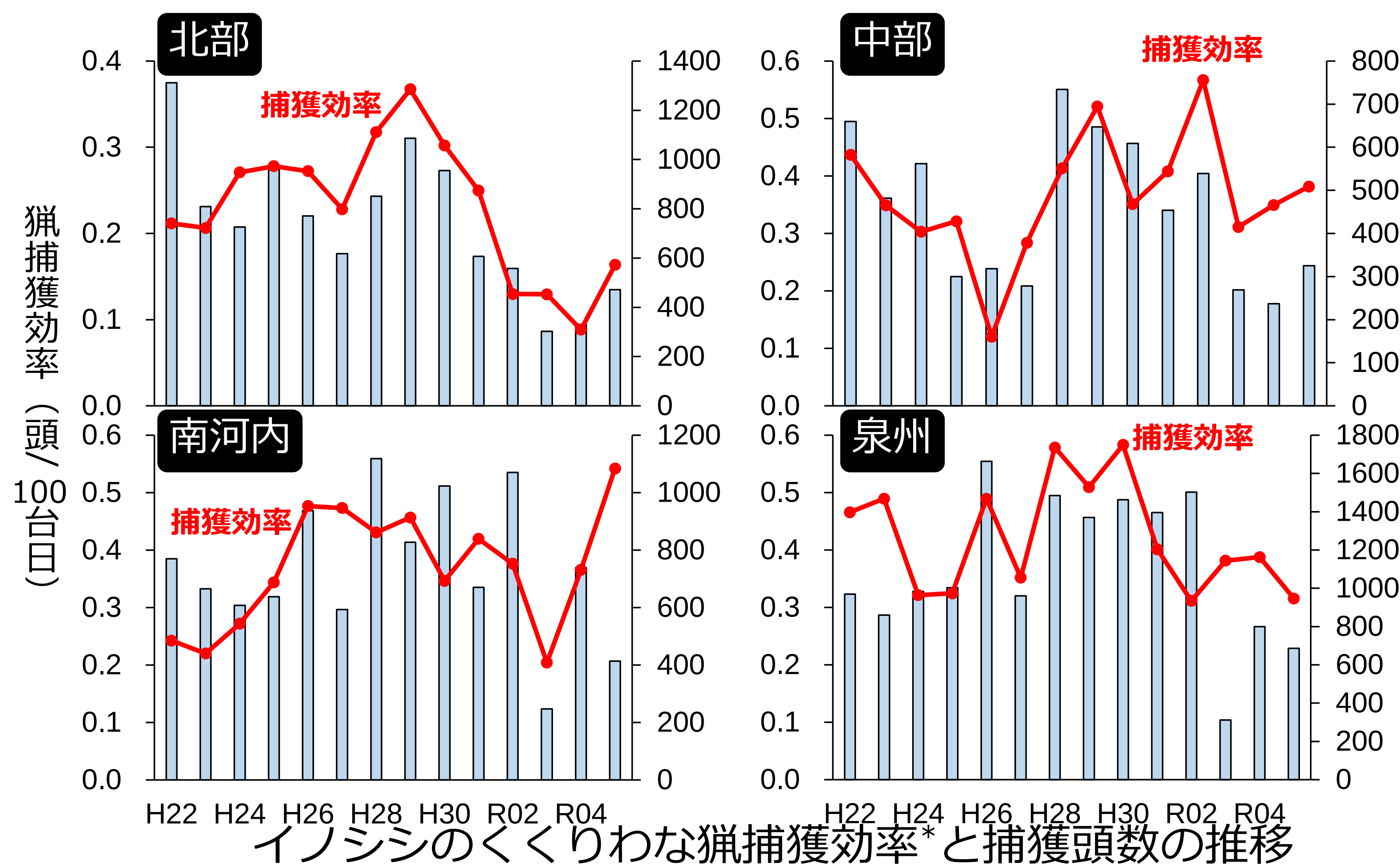
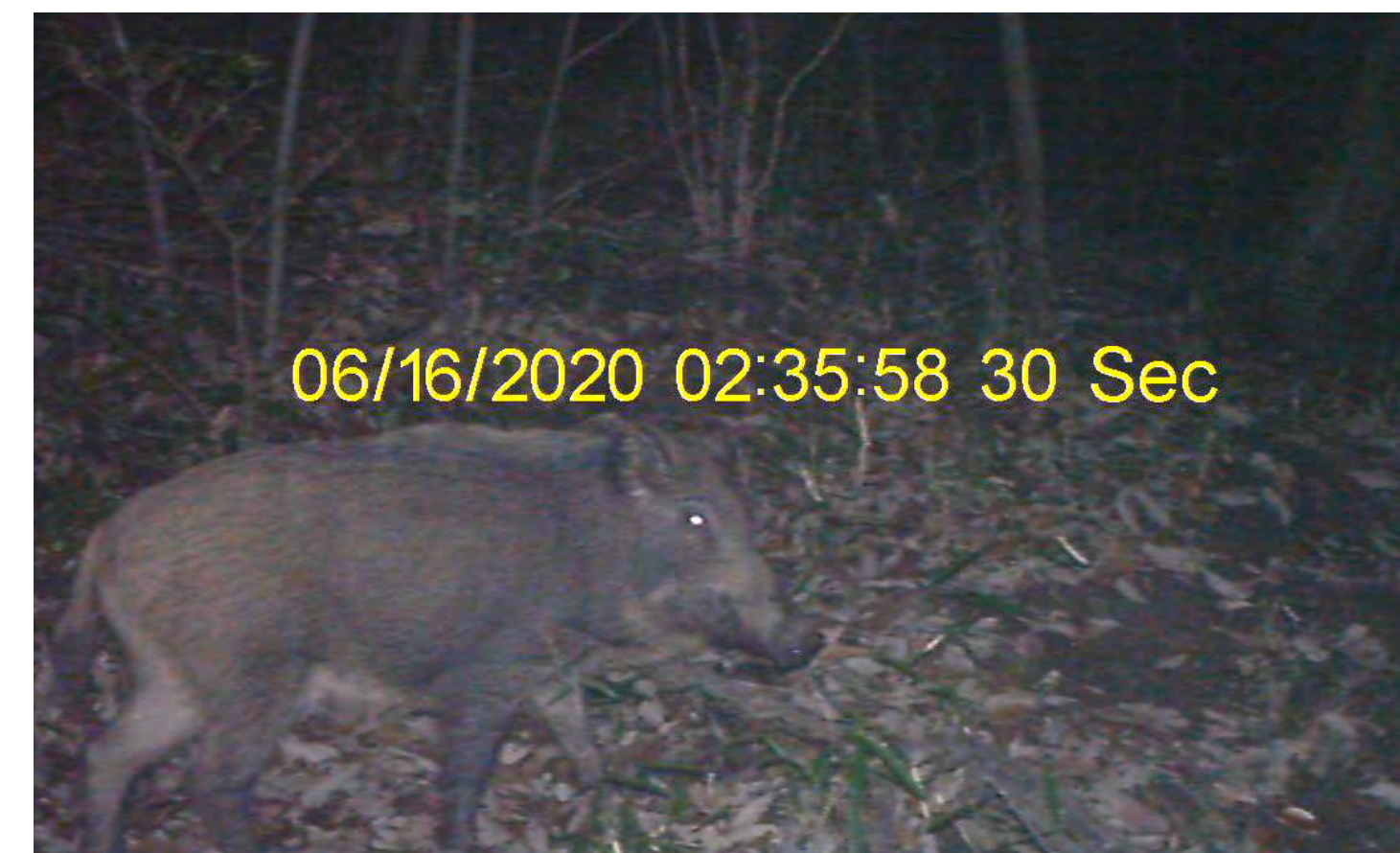


イノシシのモニタリング調査

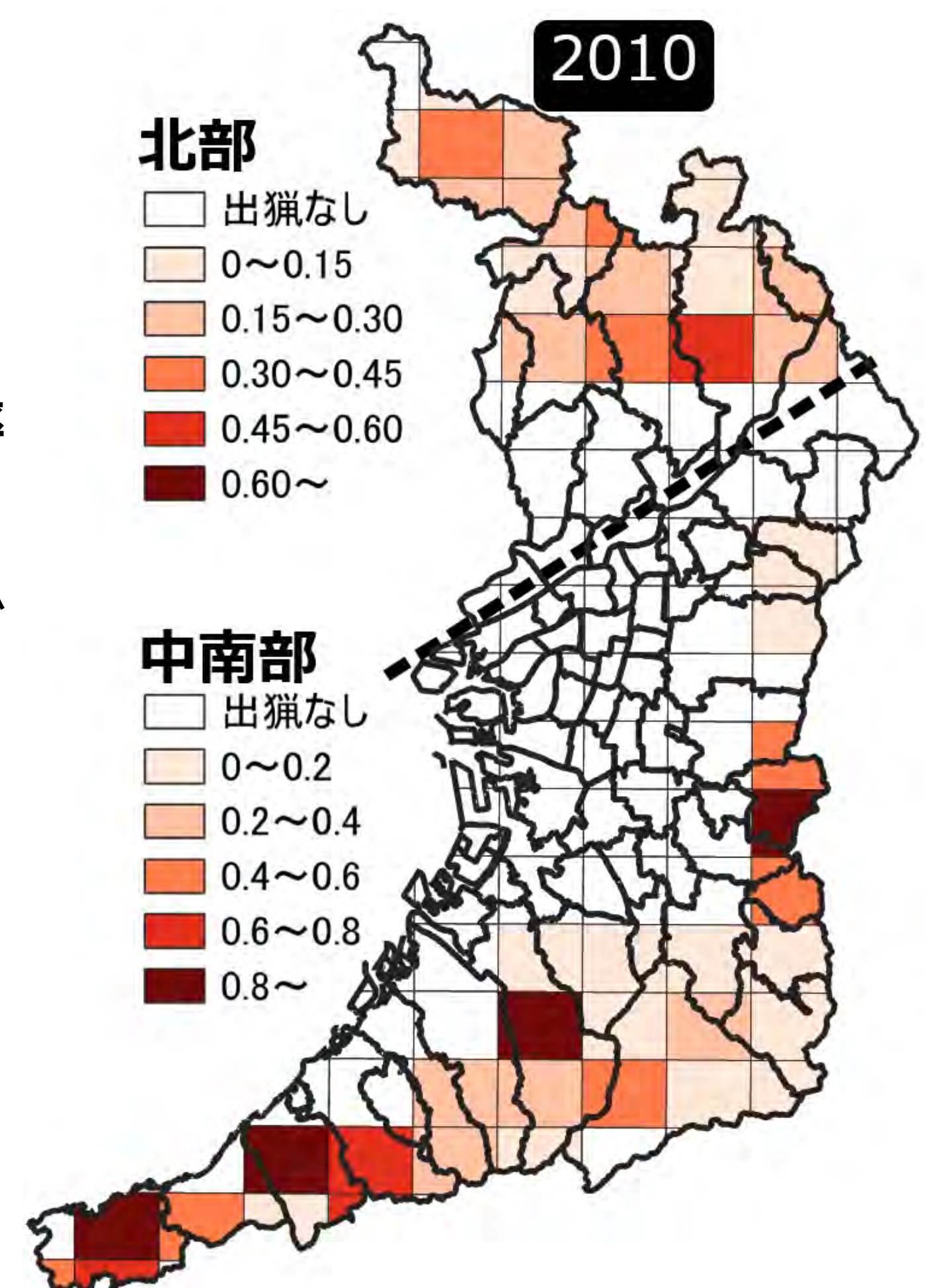
府内全域で農業被害が大きな問題となっているイノシシとの共存を、科学的管理のもとに進めるために、生息状況や被害状況の把握を行っています。

イノシシの分布と生息密度の変化

- イノシシは山間部のほぼ全域に分布しています。
- 個体数は、1990年頃から大きく増加したようです。
- 2010年頃から北河内地域で、近年も市街地に残された森林域へと分布が拡大しています。
- 2020年秋から広まった豚熱の感染拡大で、北部では2020年度に、中南部では2021年度にイノシシが激減しましたが、南河内や泉州を中心に個体数が回復しつつあるようです。



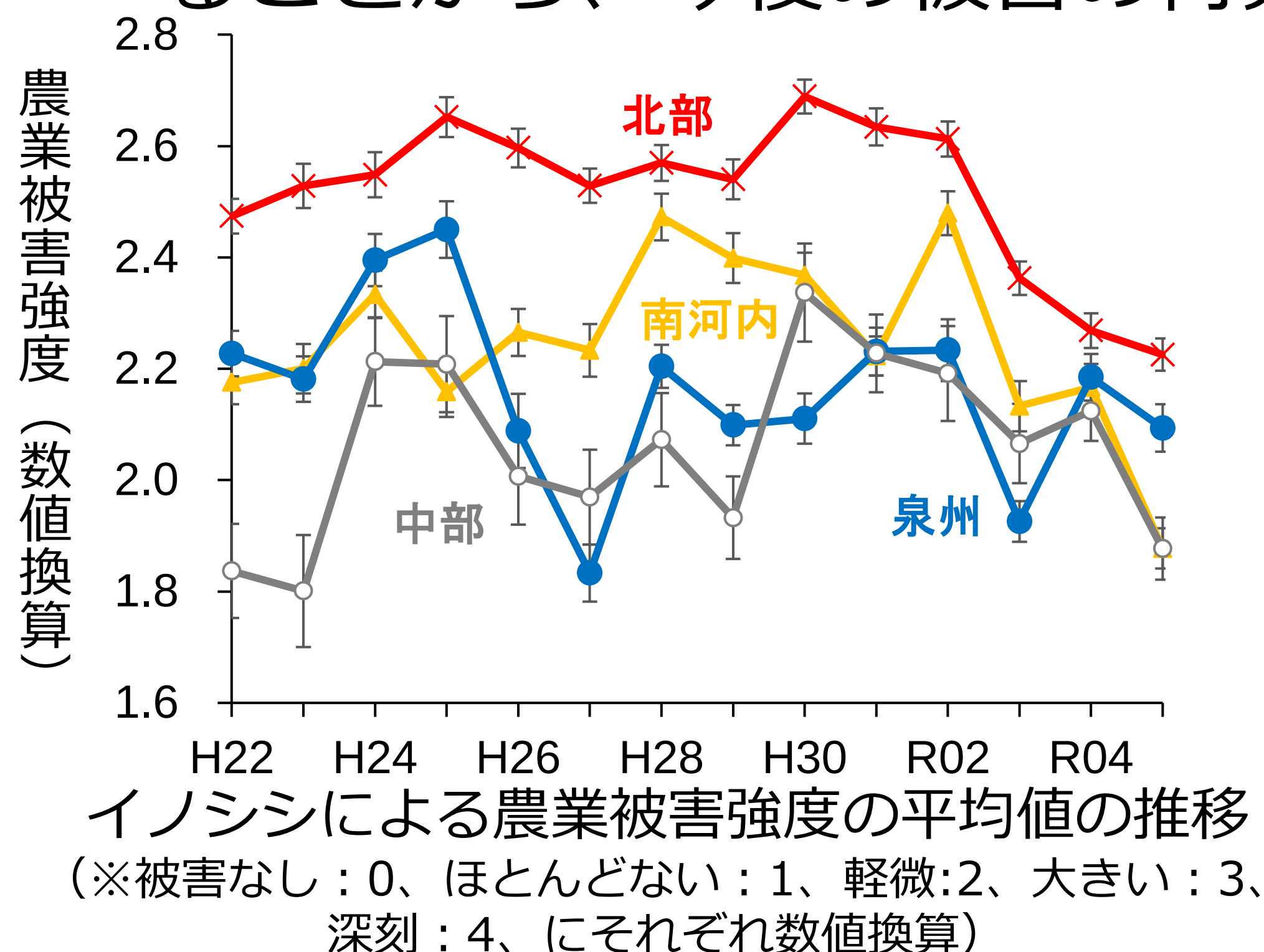
捕獲頭数



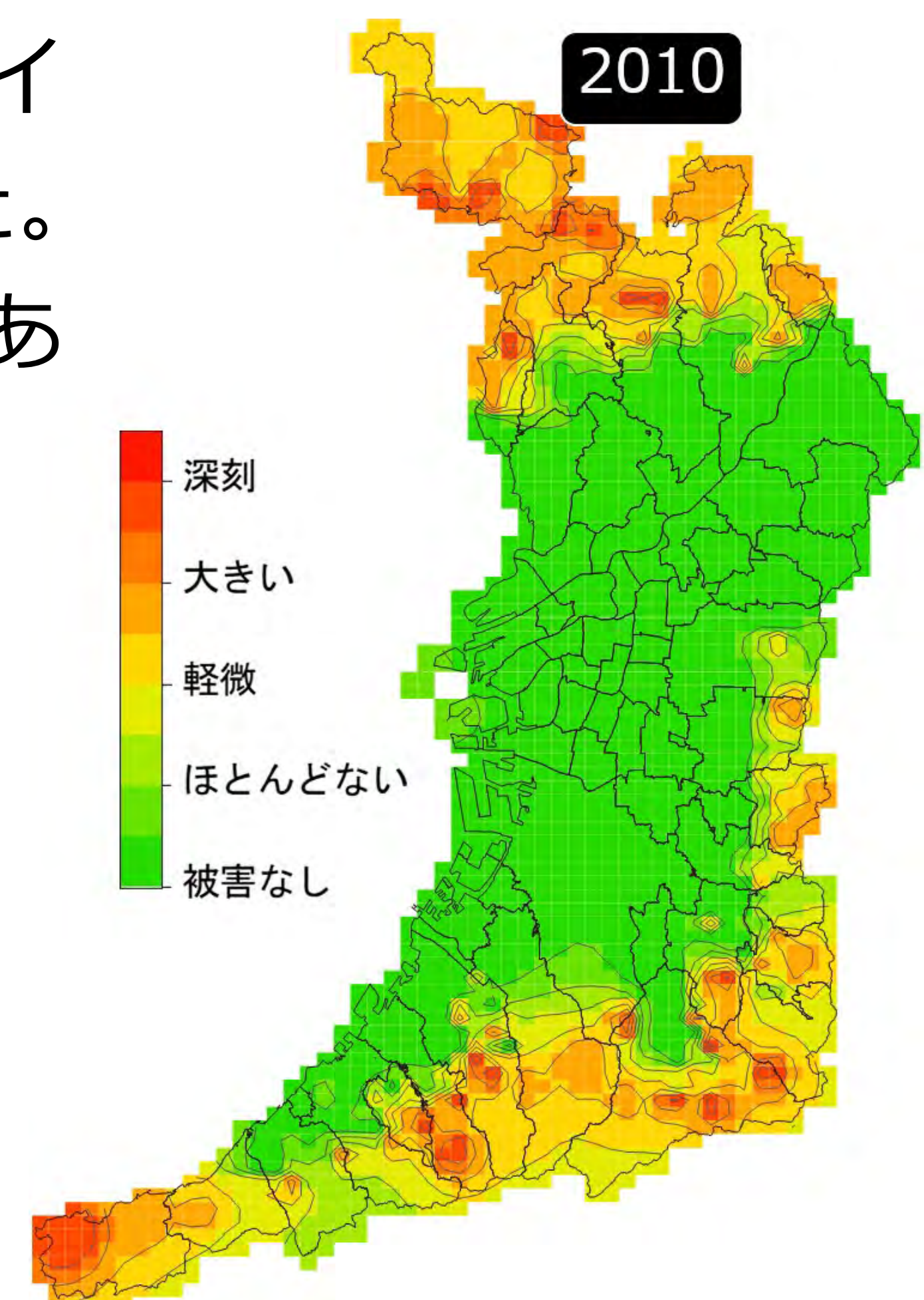
狩猟メッシュ（約5km四方）ごとのくくりわな猟捕獲効率*の分布

農業被害の発生状況

- 被害状況は地域によって異なっていましたが、豚熱の影響でイノシシが激減した2021年度には全地域で被害が減少しました。
- 被害は減少傾向にありますが、イノシシ生息数が回復しつつあることから、今後の被害の再発に注意が必要です。



穴を掘ってタケノコを探すイノシシ



農業被害強度の分布とその推移
* 農業実行組合へのアンケート調査から評価